



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニユース

みどりと清流

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平6-25-1

南平ビル1階

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

第153号

2015年
4月号

しん 赤旗 ぶん

日刊紙1ヶ月 3497円

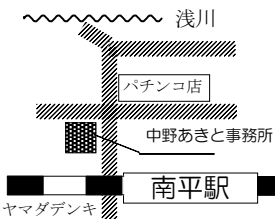
日曜版1ヶ月 823円

お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



3月議会 一般質問

子育て施策の拡充と改革を求める

4月から、子ども子育て支援制度が始まりました。さまざまな問題点を抱えたままの新制度のスタートですが、日野市では、保育園の待機児解消や、学童クラブの量の拡大など、前向きな取り組みが必要であると質しました。

中野あきと

（1）認可保育園の整備計画の前倒しによる抜本増設で早急な待機児解消を

■市の答弁

「5年間で500名超の定員増整備計画をやつていくと申し上げてきたが、指摘の通り上積みという部分は検討していかねければならない」

※議会最終日には、500名から110名増の610名の定員拡大に変更する旨明らかにされた。

（2）全員入所の原則を外し、40人以下の基準に背く大規模学童存続という、二重の問題点を抱える学童クラブへの対応を質す

■市の答弁

「近年、学童クラブの利用児童数が増加傾向にあり、今後優先順位をつけざるを得ない（待機児を出すという意）ということでの根拠を示した」

「学童の規模を40人とする

るのは非現実的でもある」

（3）たかはた保育園の民営化による民間保育園への異常な補助金支出のあり方を4点にわたって質す

①2度にわたる補正で合計6億円、市の補助だけでも4億円弱に膨れ上がった補助金額の異常。

②すでに工事済みのものに對し、これから工事を行う計画として申請されている手続きの異常。

③明らかに施工上のミスにあたるものに對し税金で補助する、賄うという異常。

④議会への補助予算計上の根拠と実務的申請段階における根拠が大きく異なる異常。

を指摘し、補助金支出のルール化や事業者選定に関する公募システムなどの導入などを提案しながら、撤回・是正を求めました。

2面へ続く

ごみ広域化問題で 「住民監査請求」

ごみ広域化計画の白紙撤回を求める「ごみ問題・監査請求をすすめる会」は3月31日、日野市監査委員に對して「住民監査請求」を行い受理されました。

同会は、すでに一万人をこえる署名を集め、計画の白紙撤回を求める「事務監査請求」を行っていますが、今回の「住民監査請求」では、計画の要となっている「ごみ処理施設建設基本計画書」に対する公金支出の不当・違法性を問題にしています。

「住民監査請求」の申し立て理由は次の通りです。

①ごみ処理広域化計画の条件とされた「周辺住民の理解」が得られていないこと。

②基本計画の策定に不可欠な市民参加がまったくなされていないこと。

③「ごみ処理施設建設基本計画書」が完成・納品されていないにも関わらず代金を支出するなど会計上も問題があることをあげ、発生した損害の請求を求めるものになっています。



「住民監査請求」が受理され

短 信

麻雀という「賭け」が連想され、イメージが悪い▼私が麻雀を覚えしたのは、入社して10年も経ってからだったが、よく誘いがかった。もちろんカモだつたからである。職場旅行がまだ盛んなころは、旅館へ着くなり雀卓を囲み、次の日まで徹夜して、そのまま帰ったことも実際にあった。風呂にも入らない猛者もいる始末である▼そんなサラリーマン麻雀から、今は「健康麻雀」に変身している。健康麻雀では「賭けない、飲まない、吸わない」をモットーにしている▼これに對し「賭けないと面白くないでしょ」とか「少し賭けないと力が付かないよ」などの声もあるが、誤解である。ある週刊誌で賭けない麻雀とはどんなものか、麻雀浸りの記者が体験レポートしていたが、予想に反し面白さは変わらなかったという▼麻雀は昭和の初期にブームになったが、戦争直前は軍部の圧力もあり、雀荘は皆無になったとのこと。戦後盛り返し、近年では認知症対策で、頭と手先を使う麻雀は注目を集め、自治体でも福祉事業の一環として麻雀教室を開催するケースもあるという。「麻雀にうつづを抜かすなどはもつての外」などという時代が再び来るのは真つ平である。（H）

「精査が足りなかつた点については反省しなければならぬ。その上で社会福祉法人に対する助成のあり方については、いろいろと考えねばならない点は多々ある」

「必要な場合にはかなり広い範囲での公募も考えていくべきと思っている」

学校トイレを緊急に改修を！

老朽化によって異臭が問題となっている学校のトイレ。日本共産党議員団は3月議会で「保護者の要望は強く学校だけでは受け止めきれない」という校長会の声や、「PTAやおやじの会」などが中心になって清掃を実施する努力はしているが、問題を解消できない危機的なレベルにある。早期改修を」というPTAの声に応えた緊急な改修を求めました。

大坪冬彦市長は「財政的に厳しい中で、教育費予算は歳出の中で飛び抜けて多く32・4%の伸びだ」「優先順位を付けて実施している」「当面は現状で」と答弁しました。

現在トイレ改修には国の補助制度しかないために、日本共産党市議団は「東京都に財政的支援を求める意見書」を市議会へ提出しましたが、反対多数で否決されました。賛成は日本共産党と無党派。自民党、民主市民クラブ、公明党が反対しました。

「安倍政権ノー」大行動

3月22日、東京日比谷野外音楽堂、国会周辺で、「安倍政権NO！ ☆0322大行動」が行われました。さまざまな分野の運動が初めて合流し、14,000人が参加しました。

集会後のデモ行進では、参加人数が多かったため、隊列が増やされ、国会包囲も2度に渡って完成されたことがアナウンスされました。日野市からも多くの人が参加し、横断幕を掲げて行進しました。



■南平駅周辺整備へ調査予算つく

新年度予算で、350万円の南平駅周辺整備のための調査予算が計上されました。市によると公共交通の導入などへ向け駅前広場等を整備するための調査とのこと。今後、関係権利者との協議・合意を前提に、利用者、住民の声を十分反映させた広場づくりが期待されます。

■平山6丁目の旧生コン工場施設が解体

2年前の6月30日をもって操業が停止されていた違法生コン工場の施設が、このほど解体されました。22年間にわたって同工場に出入りするトラックや生コン車による騒音、振動、粉塵被害に苦しめられていた住民のみなさんからは「解体となって本当に安心した」などの声が寄せられています。

■区画整理懇談会開かれる

中野あきと市議を助言者とする区画整理懇談会が3月29日に豊田地域で、4月5日に東・西平山地域で開催されました。

平山橋から豊田方面へ出る道路は、もともと狭いうえにバスが運行されるようになり、歩行者も運転者にも危険だ。改善してほしいなどの要望が出されました。また西平山地域では、曳家の基準などについて話し合いました。

■平山橋から南平駅へ向かう浅川堤防道路

「歩道をつくってほしい」「道路の改修をやってほしい」などの要望があがっていた堤防道路が、今年10月から嵩上げと合わせて整備される予定であることがわかりました。現在、整備の方法等をめぐって国土交通省と市による調整が行われているとのこと。

ミニバス等の抜本拡充へ本腰を！ ～3月議会予算委員会で提案～

新年度も拡充予算になっていないミニバス等の公共交通問題。高齢化がすすむ中、いっそう切実な課題となっています。予算委員会で、改めて大坪冬彦市長に対し、市長就任1年目の議会で繰り返してきた積極的な発言(囲み参照)の真意を質しました。

市長は、いろいろと課題があって進んでいないとしながらも、ミニバス等の課題には積極的に取り組んでいく立場に変わりはないと表明しました。

市長の答弁を受けて私から、①新年度にしっかり市民、利用者のニーズをつかみ、市民的検討の場を設置してミニバス、ワゴンタクシー、デマンド型タクシー等の交通体系の整備・拡充の方針、計画をつくり、28年度から拡充を図ること、②緊急に対応が必要としてきた交通空白地域(南平5、6丁目含む)への公共交通の導入については、検討を待つ必要はなく早急に実施すること、を提案しました。

中野あきと

「ミニバス路線の充実というのは、今後の市政の戦略においても非常に大事な、力を入れていくべき事業だと思っています。積極的に充実させるための努力をしていきたいと思っています」(2013年12月議会)

《2015年 5月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
5月 14日(木)
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見をお寄せ下さい。